

2018年1月23日

後ろ向き研究のお知らせ

香川大学医学部 麻酔・ペインクリニック科
教授 白神 豪太郎
病院助教 宮本 沙美

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録情報をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、下記の「お問い合わせ先」へご照会下さい。またこの研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学長の許可を得ています。

【研究課題名】麻酔関連偶発症例調査 2017 ならびに麻酔症例の基本情報提供

【研究機関の長】香川大学医学部長

【研究責任者名・所属】麻酔・ペインクリニック科 病院助教 宮本沙美

【背景】周術期といわれる手術前・術中・術後には人体の調節機能が壊れる可能性が高くなります。日本麻酔科学会では、麻酔科認定病院の麻酔科が管理した管理症例を対象として、年次別の「麻酔関連偶発症例調査」を行っております。麻酔関連偶発症例とは、「原因の如何を問わず、麻酔がかかっている状況下で生命危機状態となった症例」を指すものです。麻酔中に患者の生命が危機的状态にさらされた症例を検証し、結果的に何が原因であったのかを特定した上で、再発防止策やガイドラインなどを作成することを目的とした調査です。

【研究期間】承認日～平成31年3月31日

【対象者】香川大学医学部附属病院で、2017年1月1日～2017年12月31日の間に麻酔科管理の下で手術を受けた者

【方法】カルテより年齢、性別、手術部位、体位、麻酔法、並びに偶発症例については発症時期、防止の可能性、転機、主原因または成因を抽出し、麻酔・ペインクリニック科宮本が、匿名化したうえで集計、日本麻酔科学会に送付し、統計学的な処理・解析を行います。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報は匿名化されており、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

*本研究への参加を希望されない場合は、申し出ていただけたら幸いです。参加を拒否することで皆様に不利益を生じることは決してありません。

2018年1月23日

【問い合わせ先】

香川大学 麻酔・ペインクリニック科 担当医師 宮本沙美
香川県木田郡三木町池戸 1750-1
電話 087-891-2223 Fax 087-891-2224